



学校応援団だより No.12

チャンス・チャレンジ・チェンジ

令和4年度がスタートし、3ヶ月が過ぎようとしています。原小学校・原中学校では、新型コロナウィルス感染症の拡大に警戒をする中、ピンチをチャンスととらえ、今であるからとチャレンジし、より良い形で進められるようにチェンジして活動を充実させようとしています。また、様々な活動には、多くの学校応援団の皆様に協力をいただいていることに感謝します。今後多くの方と連携し、原村の子どもたちの成長に携わっていきたいと思います。

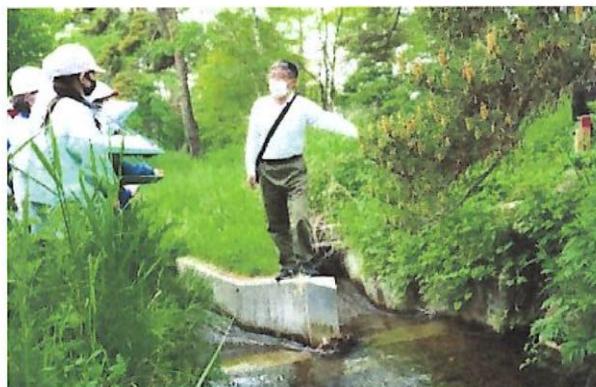
学校活動への協力に感謝 子どものために地域から力をいただく

人と人との関わりは、感染症の影響で狭まつたと感じます。今後、家族や学校以外の方々との関わりのためには、学校応援団の方の存在はとてもありがたいものです。



小学校6年生英語の授業支援(EATT)

NPO 地域学習支援センター代表関雅一さんが、4年生に原村のせぎ学習をしてくださいました。



小学校4年生 坂本養川せぎ見学講師

先生達だけで授業はできると思うんです。私、今日は久しぶりにきました。プリントを書いている子に「(上手に書けて)いいね」って声を掛けたの。そしたら、その後ろの子が私の背中をツンツンして「私も見て」って、プリントを見せてくれたの。「あら、上手ね。」って言ったら、にっこりしてくれたのよ。

ボランティアにできることってこれだと思うの。それに私、この瞬間に「ああ、今日このクラスに来てよかったです。」「おまけに元気をもらつた」って思ったんですよ。

(英語ボランティア(EATT)さんのお話から)

玄関先で5年生の男の子が、「関先生ですよね、おはようございます。僕、去年関先生とせぎに行きました。あのとき僕は関先生に、絵が上手だねって言ってもらいました。(にっこり)」。関さんが発した一言が、男の子にとってこんなに嬉しいエピソードになっていました。

様々な人との出会いによって、様々なエピソードが生まれ、それが子どもの学び(思い出)になる。この経験をたくさんしてほしいです。



中学校平和教育支援

「青い空の会」の皆さんとの朗読劇を通して、戦争の悲惨さを学んでいます。

中学校農業体験支援

原村の多くの農家の皆さんに協力いただく中、働くことの大変さを学んでいます。

小学校クラブ活動支援

フェルトクラブ・葉草ハーブクラブ等の支援をいただき、活動が充実しています。

これら以外にも、読み聞かせや代掻き・田植えの支援、押し花の装飾、アサガオの苗を届けていただいたり、子ども達の安全を見守っていただいたりしています。

今後の支援のお願い

お時間がある時に、気軽に学校においていただき、子どもたちの活動のお手伝いをしていただけると嬉しいです。

<小学校>

◎授業支援

ミシン・クラブ活動支援 等

<中学校>

7月20・21日 八ヶ岳登山 荷物運搬

10月5日 新コース強歩大会 安全確認

◎部活動 休日等活動支援 等

学校応援団会議 参集開催

昨年10月に開催して以来、感染症拡大防止のため開催を中断していた学校応援団会議を、下記のように参集して開催します。学校応援団のあり方、今後の進め方等について話し合いたいと思います。

日 時 7月1日（金） 18:30～19:30

会 場 原中学校 家庭科室（南校舎2F）

参加方法

参加を希望される方は、直接原中学校においてください。

ご家庭で検温をし、平熱であることを確認ください。

平熱でない方、体調の悪い方の参加はご遠慮ください。

<学校応援団だより>これから・・・

学校応援団だよりは、「広報はら」発行の際に“学校応援団だより”として、差し込みをさせていただいている。次号8月号からは、原村のご理解・ご支援をいただき「広報はら」にひとつコーナーを設けていただく中、学校応援団の様子をお知らせするようになります。

学校応援団会議については、以前よりお知らせしているようにメールにて連絡をさせていただきます。

連絡・問い合わせ・応援団登録は、

原小学校 79-2123 (担当 教頭 百瀬)

原中学校 79-2455 (担当 教頭 内川)

まで、お願ひします。